



水餃子作り体験



タイル絵付け体験



◀ホームステイ中の写真は町ホームページでご覧いただけます。

▲青年使節団と8月14日にチェルタルド市へ向かった第18次中学生研修団との交流

甘楽町・チェルタルド市 姉妹都市交流40周年記念

vol.4



第11次チェルタルド市青年使節団が8月1日から5日まで来町しました。滞在中はさまざまな日本文化を体験し40周年の記念の年にさらなる友好の輪を広げました。

団員16人の受け入れにご協力いただいたホストファミリーの皆さんの感想を紹介します。

■ 問い合わせ 企画課企画調整係 ☎74-3133



齊藤健彦さん
家族(福島)

初めての留学生受け入れ。わが家には紳士的で笑顔のさわやかな男の子2人が来てくれました。言葉の不安はあってもそれを吹き飛ばしてくれたのは2人の笑顔で、笑顔の力は万国共通だと痛感しました。この貴重な経験で私たちは世界が広がり、出会いの素晴らしさを知りました。今後の人生に大きな影響を与えてくれたこの機会に、心より感謝します。



野口剛さん
家族(白倉)

受け入れ家庭として、少しでも日本のことを知ってほしいと思い一緒に過ごしました。日本語に関しては簡単なあいさつを覚えてくれて、それだけで気持ちが通じ合えた気がしました。また、和食や神社へのお参りなど、いろいろな体験を通して日本の良さを感じてくれたと思います。私たち家族にとっても、たくさんの思い出ができて貴重な経験となりました。



倉林昭二さん
家族(小川)

我が家の一大ミッションにいつものお仲間たちが加勢に駆けつけてくれました。先方の美しい2人組に物怖じしかけていた私たちはふっくらと元気を取り戻しました!! 普段はめったに意識しない「日本らしいこと」思いついたことをみんなで一緒に楽しみました。加勢のみんなの超温か〜い気持ちが2人に伝わったことをはっきりと感じ、胸がいっぱいになりました。



大野祐司さん
家族(白倉)

期待と不安の中訪れた対面式の日、「Ciao!」とあいさつし手を振ると、2人はほほ笑みを返してくれました。心配していた食事も、お寿司、たこ焼きなどさまざまな日本食にチャレンジしてくれました。片言の英語と翻訳アプリで意思の疎通が図れたので安心して過ごせました。貴重な経験のきっかけをくれた「チェルタルドに行きたい!」と言った娘に感謝です。



井上恵介さん
家族(小幡)

本当に楽しい時間を過ごさせていただいたこと心より感謝しています。言葉は分からなくてもつながる心。普段の生活では得ることのできない教育。子どもたちは価値観、人生観、そして自身のこれからの未来への想いが変わったことと思います。本当に優しくかわいらしい2人を息子として受け入れることで、我が家のみんなが幸せになることができました! Grazie!



桐生佑介さん
家族(小幡)

スマホ1台でつながる時代。国や年齢が違って相手も思いやる気持ちが同じで、人となりが分かれば自然と伝わる、本当にすてきな時間でした。彼らに貴重な体験をくださった、甘楽町バドミントンクラブ、甘楽町弓道愛好会の皆さまに心より感謝申し上げます。私が中学生研修団としてチェルタルドを訪れたのは35年前。これからも長く続きますように。



山田学さん
家族(白倉)

今回、受け入れをして大切なことを学びました。イタリア語がほとんど話せないため、翻訳機を使ったり、知っている英語でコミュニケーションを取り合うことができました。対話することで生活習慣や文化の違いなどを乗り越え、お互いを知り仲を深め合うことができ、今では家族のように思えます。短い間でしたが一緒に過ごした時間はかけがえのない大切な宝物です!



堀越昭男さん
家族(白倉)

思っていることが通じるか、楽しく過ごせるか不安でしたが、子どもたちが笑顔でコミュニケーションを取り合う姿を見て、不安どころかもっとたくさんもてなしてあげたかったと物足りなさも感じてしまいました。多くのお土産と思い出を持って帰国する姿を見て、今回の交流で互いの大きな成長と忘れることのない貴重な経験ができたことを大変感謝いたします。